

上田 智輝 選手・栗飯原 尚平 選手の紹介

うえだ ともき 選手(28歳) 背番号 **31 GK**

ホームタウン応援大使 ニックネーム
岐阜町 トモキ、ウエ



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

奈良県宇陀市出身、両親と4歳上の兄の4人家族で育った。小学生の時にサッカーをはじめ、体が大きいこともあり6年生からゴールキーパーを始めた。宇陀市内の中学校に通いながら、京都サンガジュニアユースに加入した。練習は電車とバスで片道約2時間をかけて通った。

高校は京都翔英高等学校に進み、京都サンガユースに加入し寮に入っ
てサッカーと、勉学に励んだ。大学は兵庫県西宮市の関西学院大学サ
ッカー部に所属した。

大学2年時は、関西学生リーグ戦、関西選手権大会で優勝し、更
には夏と冬の総理大臣杯でも優勝し、全国制覇を成し遂げ活躍した。
当然地元のJFLの奈良クラブ(現J3奈良クラブ)が目につけない訳が
なく、声がかかった。大学卒業後2018年にJFL奈良クラブに加入
して3年間経験を積んだ。2021年J2大宮アルティージャに加入し
プロデビューを果たしたが、病気を患い長いリハビリが必要となった。
翌年2022年に再びピッチに戻り、開幕戦勝利を得た時は本当に嬉
しかった。その後、膝の大怪我をし、約2年間リハビリ期間となった。
リハビリ期間は苦しく厳しい時間であったが、結婚してチームメイト
達と家族ぐるみの付き合いをする中で楽しい時間を過ごすことが出
来たと感謝している。怪我から復帰して2023年J2藤枝MYFCに
移籍加入し16試合に出場した。大学の先輩や同級生もいて、充実し
た1年間であった。

今年からFC岐阜に移籍して現在6試合に出場している。岐阜のサ
ポーターはいつも大きな歓声を送ってくれて、幸せを感じている。ま
だ岐阜市中心の生活だが、住みやすい街で、奥さんと愛犬のトイプー
ドル共々気に入っており応援大使を務める岐阜町はじめ各地も訪ねて
みたいと話す。夢はJ1で試合をすることであるが、まずはFC岐阜
の昇格に貢献すべく頑張りますと話す上田智輝選手の活躍を見守って
ください。

あいはら しょうへい 選手(28歳) 背番号 **24 FW**

ホームタウン応援大使 ニックネーム
各務原市 あいくん、くり



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

北海道札幌市出身。札幌市立あいの里
東中学校に通いながらクラブチームの
SSS札幌でサッカーを始めた。高校は
道立札幌英藍高校に進み、コンサドーレ
札幌ユースチームに所属し活躍した。東
大阪市の近畿大学サッカー部を経て、
2019年に大木元監督率いるFC岐阜に

加入し、3年間在籍した。在籍した3年間で様々な経験をしたが、特
に大木元監督の印象が強く残っている。自分に欠けているところを強
く求められるサッカースタイルで、とても苦しかったが努力を重ね、
期待に応えることが出来た。FC岐阜に加入後、年に一度母親と白川
郷、高山、下呂、郡上などに行き岐阜県の観光や食事を堪能した。

その後2022年から、ロアッソ熊本に移籍加入した。2021シー
ズンにJ3優勝しJ2に昇格した大木元監督率いるクラブであった。
移籍したその年J2を4位で終え、4チームによるプレーオフに進む
ことが出来た。第1回戦、第2回戦どちらも同点であったが、1回
戦では自身のゴールを決め、2回戦もレギュレーションの結果勝ち進
んだ。大いに盛り上がったがJ1京都サンガとの昇降格決定戦では、
前半先制されるも後半に得点しそのまま1-1で試合終了となった。
レギュレーションの結果J1昇格とはならず悔しい思いをした。

2023年、チームは14位に沈んだが、天皇杯ではJ1のサガン鳥
栖、FC東京、ヴィッセル神戸を破ってベスト4に進み熊本中が大いに沸いた。

ロアッソ熊本で2年過ごし、今年、古巣のFC岐阜を何としても昇
格させる決意で戻ってきた。現在は苦しい試合が続いているが、自分
の経験を大いに生かして、チームと一丸になって活路を開いて頑張
ると意気込んでいる。今は途中出場が多いが、スタメンを勝ち取り、い
つの日はJ1でプレーすることを願っています。引き続き栗飯原尚
平選手の応援をよろしくお願いします。